

心のアンケートから見

海の声

VOICE OF OCEAN

地域の皆様と保護者の皆様と
子どもたちとわたしたち
御所浦小でおこすステキな奇跡

この島に なにを学び この島の子らに なにをのこすのか

先日、心のアンケートを実施しました。これは毎年2回実施しているもので、友人関係や学習状況、その他子どもの成長に関わる事柄について、子どもたちが楽しく学校生活を送れているかを確認するものです。

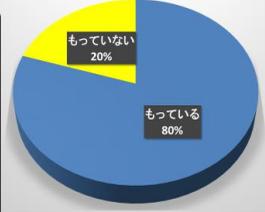
アンケート集計をいくつか紹介します。
問1(1)で学校が「ア楽しい」または「イまあまあ楽しい」と回答した割合65人中65人、問2で「今の学年になっていじめられたことがある」と回答した割合65人中0人等、子どもたちが楽しく学校生活を送っている状況がわかりました。子どもたちの心情は成長に伴い変化しますので、今後も子どもたちのようすをつぶさに観ていきたいと思ひます。また御所浦小は週1回子どもたちの状況について情報交換をする機会を設けていますのでここでも子どもたちのことをたくさん話していきたいと思ひます。
さて、その一方で気になることが2点、見えてきましたので以下に記します。それは「自己有用感」と「スマホ等情報端末の使用」です。

自己有用感は大切!

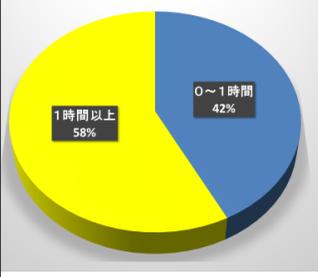
問1(2)「誰かの役に立っている」で「ウあまりない」「エない」の回答が14%ありました。また、問1(4)「自信のあることや自慢できることがある」で「ウあまりない」「エない」の回答も14%あります。
楽しく学校生活を送っている状況の中で、自分に自信が持てていない状況もわかってきました。
子どもたちは早い子であと3年半で島を出ます。そのあと成長の過程で起こるさまざまなことに対処していきながら成長していくこととなります。成長の過程の負荷が適当であれば良いのですが、そうでない場合も人生には多々あると思ひます。きっと保護者のみなさまもそうで、自分を励ましたり、鼓舞したり、慰めたりして、人生の荒波を乗り越えてきたと思ひます。
子どもたちが島を出るその時まで、子どもたちの自己有用感を高めていただければと思ひます。
自己有用感はい換えれば「愛」だと思ひます。子どもたちにこれでもかの「愛」を注いであげてください。

学級懇談会等で話題にしていたけると幸いです

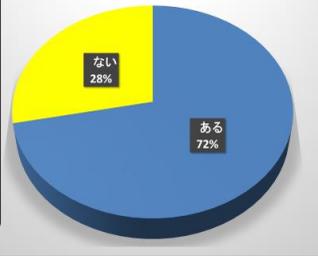
自由に使える情報通信機器を持っているか ~学校全体~



御所浦小3~6年 1日の使用時間



3~6年 ルールがあるか



御所浦小学校
学校通信
令和2年7月2日
文責・木村純一

07

裏面あり

だれの言葉でしょう?



紅白で初めて聴いたとき、この歌が大好きになりました。その年の卒業式の先生たちの送る歌で歌いました。御所浦で過ごした時間が、子どもたちのプラスになります。子どもたちには「ふるさと」を満喫してほしいです。セミの声を聴きながら、友だちと遊ぶそんな何気ない日常が、かけがえのない「ふるさと」の思い出になります。島を出た子どもたちが、島で学んだことを生かして島を愛する実直に生きていく子になってほしいと願います。スマホもきちんと付き合える子になってほしいです。
(宮城野)の通信(Softbank)

スマホは知って使う!



問17「自由に使える情報通信機器を持っているか」にスマホやタブレット、ゲーム機器等を持っている回答が80%ありました。あわせて問19「1日に使用時間が1時間以上の回答が58% (2時間以上は21%)」、問20「家庭でのルールがない」回答が28%あります。
フリーWI-FIの環境 (例えばフェリー発着場やファミレス、ファストフード店等) では顔を知らない人との交信が可能となります。
これが上に記した「自己有用感の低下」と相まると誹謗中傷に心を病んだり、ネット依存が心配されたりと、さまざまなトラブルに巻き込まれる危険性が高まります。
安全面から持たせるとしても、危険性とは表裏一体ですので、是非今のうちから、スマホの良さと危険性について経験も交えて話をし続けていただきたいと思います。